オーストラリア　ハンティングデール小学校との交流について

名張市立蔵持小学校

本校とオーストラリアのメルボルン市にあるビクトリア州立ハンティングデール小学校は、「姉妹校協定」を結び、国際交流をすすめています。平成２７年（２０１５年）には、日本への修学旅行を兼ねた国際交流学習の一環として名張市に滞在し、本校児童と交流を行いました。以来２年に１度ハンティングデール小学校の児童が来日し、地域、保護者の協力でホームステイを行い、その間、本校児童との交流を行う取組を続けています。

【目的】

・国際化が進展する中にあって、本校の子どもたちが、世界に目を向け、異文化に対する理解や異なる文化を持つ人々とともに協調して生きていく態度の育成につなげる。
・本校の子どもたちが、ハンティングデール小学校の子どもたちと交流することで英語に親しむとともに、外国の文化や習慣等についての知識を広め、学習意欲を醸成する。
・外国とのつながりを意識し、関わりを深めようとするコミュニケーション能力の向上とともに、外国の人々のものの見方、考え方に触れ、多面的・多角的な考え方を育てる。

【国際理解教育の取組】

「ウエルカムセレモニー」
　地域の皆さんのご協力で「獅子神楽」を披露しています。またゲームなどをして楽しみました。

数学や習字などの授業や給食の時間も一緒に過ごし、日本の小学校生活を体験しました。

コロナ禍の 3 年間は直接会っての交流はできませんでしたが、オンラインでの交流を行いました。

【令和６年の交流】

コロナ禍のため、オンラインで交流を続けていましたが、５年ぶりに直接交流を行うことができました。今回は５、６年生の３６名が蔵持小に来てくれました。

歓迎セレモニーでは、レクレーションで交流を深めました。ハンティングデール小のみなさんは、日本語で歌をうたってくれました。

滞在期間の２日間は５年生、６年生のそれぞれの教室で蔵持小の日課で一緒に学習しました。自然と話ができるようになりました。

給食や掃除も一緒に行いました。オーストラリアの学校は給食や清掃がないそうです。業間や昼の休み時間も一緒に遊んだり、たくさんお話をしました。

本校の児童に対して、ハンティングデール小の先生方にも、英語や体育、音楽や図工の授業を行っていただきました。

最後の時間は、それぞれの学年で、ドッジボールなどを行いました。限られた期間でしたが、ハンティングデール小の友達と楽しい時間を過ごすことができました。

【うれしいサプライズ】

１２月１１日（水）には、コロナ禍のため直接交流を中断するまえに、ハンティングデール小学校に在学し、５年前に本校と交流をしたギャビさんがご家族と来日することとなり、交流時にホームステイをした児童宅に滞在し、その間、本校を訪問したいという依頼があったので、５年生の英語学習の時間にゲストティチャーとして授業をアシスタントしていただく事となりました。ギャビさんは、本校との交流後も日本語の学習を続けていたそうです。

ギャビさんは５年前、ハンティングデール小の児童として蔵持小に来たそうです。ピアノや料理が得意だと日本語と英語で自己紹介をしてくれました。

ギャビさんの英語を聞き取り、解答しています。
オーストラリアにかかわるクイズも出題してくれて、楽しく学習ができました。

机の間を回りながら、優しくアドバイスをしてくれました。日本語もとても上手でした。

５年前に交流したギャビさんですが、蔵持小との交流を大切な思い出としてくれているように感じ、とてもうれしくなりました。また当時、ホームステイしていたご家族とも交流が続いていることも、とてもすばらしい事だと思います。ギャビさん、来校いただきありがとうございました。